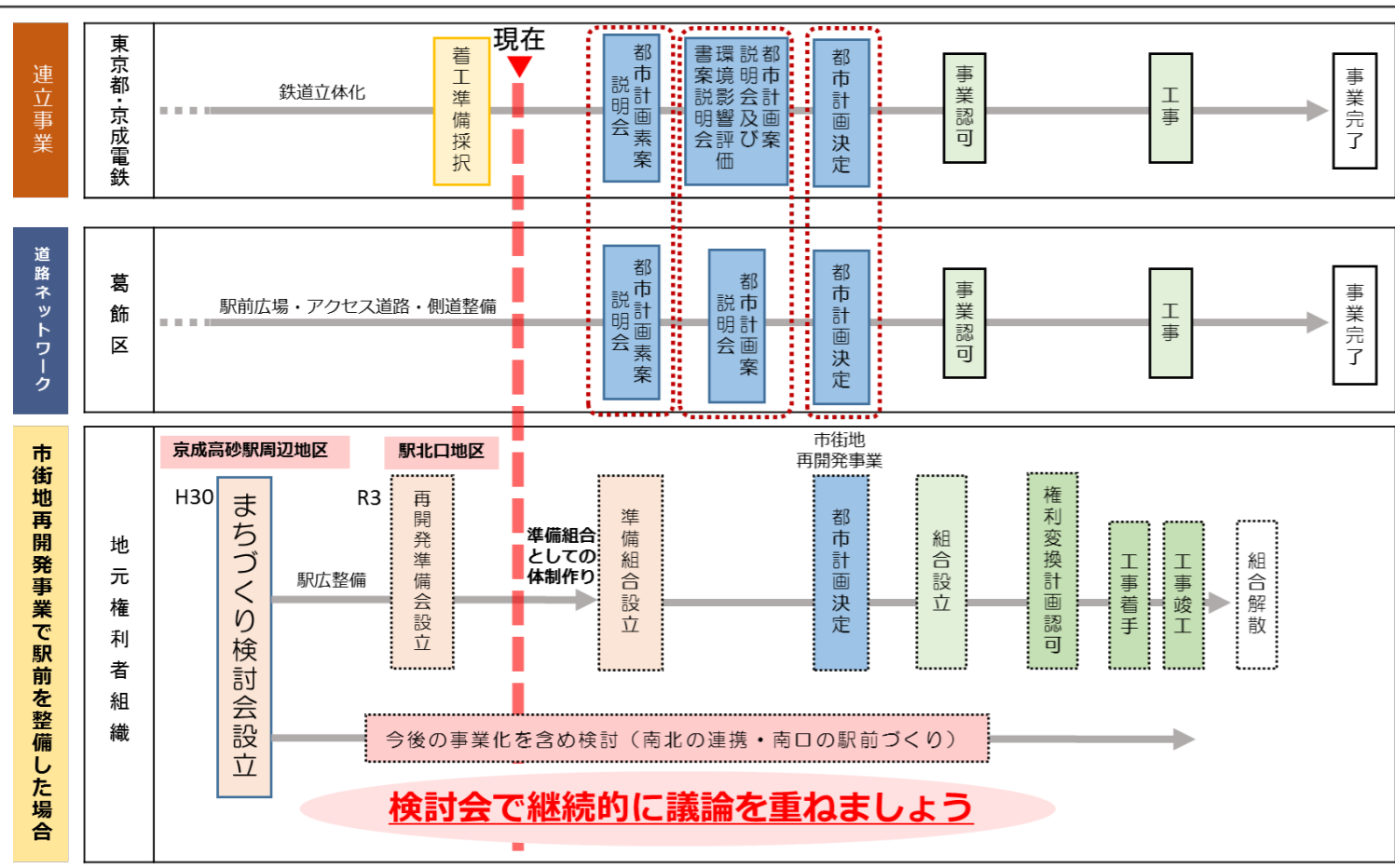


今後の活動について

連続立体交差事業とそれに関連する道路ネットワークや、地元のまちづくり事業の進め方のイメージを整理すると以下の流れが想定されます。



※ 葛飾区と高砂地区開発協議会で想定する流れであり、実際の流れと異なる可能性があります。

事務局より

本検討会においては、次年度以降も、連続立体交差事業に併せた、駅周辺(北・南)の一体的なまちづくりを目指して、検討を進めていきます。

高砂らしい、より良いまちづくりを実現するためには、地域の皆様と、引き続き、まちづくりに関する意見交換等を行うことが大切であると考えておりますので、検討会開催時には、是非、多くの方のご参加をお待ちしております。

また、まちづくりに関する要望等がございましたら、下記までお問い合わせください。



発行元：高砂地区開発協議会 会長 関根芳夫

協力：葛飾区 都市計画課 高砂地域整備担当係 黒崎、松本、鈴木

〈連絡先〉 電話：03-5654-8344(直通)

FAX：03-3697-1660

HP：「駅周辺地区まちづくり検討会について」



〈HPはこちら〉

住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり

駅周辺地区まちづくり検討会ニュース

第13号 令和6年3月

令和6年2月20日(火)に、高砂北集い交流館にて、『第12回 駅周辺地区まちづくり検討会』を開催しました。当日は、4名の方に参加いただきました。

今回は、まちづくりに関する『情報提供』と『意見交換』を行い、参加者の皆様からは、貴重なご意見を多くいただきました。



【第12回検討会の様子】

【当日の内容】以下の2点になります。

①情報提供

- 高砂地区まちづくり勉強会
- 事例視察会
- 京成高砂駅北口地区市街地再開発準備会
- 震災復興まちづくり訓練

②意見交換

- 街の基盤や環境の整備課題について
- 高砂駅周辺の魅力付けの方向性について

①情報提供

・高砂地区で行っている勉強会などについて、情報提供を行いました。

高砂地区まちづくり勉強会【協議会主催】

連続立体交差事業に関連するまちづくりについて、他地区の事例を交え、勉強を進めています。

各回、テーマを定め、複数の班で意見交換し、発表を行っています。

期間は、令和5・6年度を予定しています。



〈詳細はこちら〉



【勉強会の様子】

事例視察会【協議会主催】

～武蔵境駅周辺(武蔵野市)・都立小金井公園～

連続立体交差事業と併せたまちづくりの先進的な取り組みを学ぶため、武蔵境駅周辺を視察しました。

また、今後のまちづくりにおける公園の在り方を学ぶために都立小金井公園を視察しました。

開催日時：令和6年1月11日(木)

視察先：武蔵境駅周辺

都立小金井公園(江戸東京たてもの園)

参加者数：13名



【武蔵境駅】

【都立小金井公園 江戸東京たてもの園】

京成高砂駅北口地区市街地再開発準備会【北口権利者主催】

駅周辺地区まちづくり検討会でまとめた『高砂駅前まちづくり構想』をふまえて、関係権利者の方々と再開発事業の仕組みの勉強や意見交換を行っています。



〈詳細はこちら〉

震災復興まちづくり訓練【区主催】

訓練では、復興の主体となる住民・行政が、被害を想定して復興過程を模擬体験し、震災前に地域にあわせた復興まちづくりの進め方と計画づくりを考え、とりまとめを行いました。

なお、本訓練は区内各地区で行っており、今年度は高砂地区で実施されました。



〈詳細はこちら〉

②意見交換

※当日の意見交換のテーマといただいた意見を紹介します。

これまでの検討の中で「高砂駅前まちづくり構想」等に挙げられている4つのコンセプト(①~④)をもとに、今後、意見交換したい「検討テーマ」を定めてきており、当日は、その中から、主に以下の2つ(テーマA.B)について、他地区の事例を交えて説明したうえで、意見交換を行いました。

[高砂駅前まちづくり構想等に挙げられている4つのコンセプト]

- ① アクセス性の良さを活かし、立ち寄りたくなる商業施設、便利なオフィスや住宅の配置を考える
- ② 交通結節点の機能に加え、人が集うイベントなどが開ける賑わいある駅前広場を考える
- ③ 駅前と周辺商店街・高架下利用店舗等が連携する利便性、快適性を備えた駅まち空間を考える
- ④ 水害時の一時避難場所など災害にも強い安全・安心なまちづくりを考える

[検討テーマ]

テーマA

街の基盤や環境の整備課題を解決する方策を考える

エリアマネジメントを研究し、高砂駅周辺の“まちの運営”を考える

テーマB

高砂駅周辺の魅力付けの方向を考える

防災まちづくり
高台まちづくり研究

今回の主な検討テーマ

テーマA 街の基盤や環境の整備課題を解決する方策を考える！！

以下の4点を**着目点**として、事前に説明を行いました。

- ◆街の回遊性(駅南北の回遊性)・スムーズな乗り換え ~安心して回遊できるまち~
- ◆街の活性化 ~魅力的な商店の形成・駅南北の一体的なまちづくり~
- ◆街の住環境 ~安心して暮らせる社会インフラ(病院、保育所など)の整備~
- ◆避難できる街 ~災害時の避難場所の確保、しっかりした水害対策~



歩行者・自転車専用道路 (石神井公園駅)



地産地消のマルシェ (アオーレ長岡)



駅チカの保育園 (石神井公園駅)

【当日いただいたご意見】

- ① 駅周辺の課題として駐輪対策が挙げられる。限られた敷地のなかで効率の良い駐輪システムが必要ではないか。
- ② 人と自転車、車が安全に通行できるような道路整備が必要である。



① 立体駐輪場 (地下) システム (イメージ)

地下空間を利用することにより、限られたスペースでも多くの台数が収用できる。
(葛飾区 新小岩東南自転車駐車場)



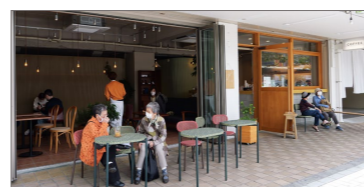
② 都市計画道路の整備 (イメージ)

歩行者と自転車、車が安全に移動できるようそれぞれ充分な道路幅が確保されている。

テーマB 高砂駅周辺の魅力付けの方向を考える！！

以下の2点を**着目点**として、事前に説明を行いました。

- ◆魅力付けの方向 ~歩いて楽しいまち、滞在できるまち~
- ◆高砂の魅力を見出す ~子供や若い人にとって自慢できるまち~



駅前広場オープンカフェ (竹ノ塚駅前)



商業・ホテルの複合整備 (押上駅)



高砂音楽祭 (高砂北公園)

【当日いただいたご意見】

- ① 連続立体交差事業に伴って、南北の自由通路を整備してほしい。賑わいの場となればよい。
- ② 駅前広場の整備に伴って、従来のバスやタクシー以外にも何か**便利な移動手段**があればよい。



武蔵境駅高架化後の南北通路



葛飾区東立石地区における地域主体交通

① 賑わいの創出 (イメージ)

鉄道の高架化に併せて南北の行き来が可能に。高架下の商業展開と相まって人が集い、賑やかな空間が生まれた。

② 便利な移動手段 (イメージ)

本区では、地域主体交通として、地域組織が運行主体となり、身近な生活圏における移動手段(グリーンスローモビリティ)を増やすことで、地域住民の外出を支援し、地域を活性化させる取組みを行っている。

その他ご意見

- ・若い世代をはじめ、幅広い層からの意見を多く取り入れてほしい。
- ・事例の視察先については、高砂のまちづくりにより活かせる場所を選んでほしい。
- ・駅周辺の各地区の連携が必要。駅の東側などに区域を拡げた検討もするべきではないか。
- ・将来(50年、100年後)を見据えたまちづくりを検討すべきではないか。